



# 聞き書き甲子園

## 第14回

# プラットフォーム

2016

3

27 [日]

★開始 13時30分～

🌸会場 東京大学  
弥生講堂一条ホール

東京都文京区・東京大学本郷キャンパス内

トークセッション



■午前の部  
聞き書き甲子園 OB・OG 企画  
座・ローカル!

藤本智士と地域の未来づくりに挑む  
10代が語る、ローカルの温もり

時間◎ 11:00～12:30

会場◎ 一条ホール

☆10時からロビーでの展示もっています!

主催：聞き書き甲子園実行委員会

(農林水産省/文部科学省/環境省/公益社団法人国土緑化推進機構/公益社団法人全国漁港漁場協会/全国内水面漁業協同組合連合会/認定NPO法人共存の森ネットワーク)

## <プログラム>

13:30 ▶ 開会の挨拶

13:45 ▶ 名人認定証授与・高校生修了証書授与

14:00 ▶ 優秀作品賞・写真賞授与

14:05 ▶ “森・川・海の名人” と高校生の体験談

**聞き手** 塩野米松 (作家)・阿川佐和子 (文筆家)

……………代表で3組の名人と高校生が登壇します。

15:15 休憩

15:25 ▶ インドネシアの高校生による

インドネシアの聞き書きの発表

16:00 ▶ 対談

「暮らし」を見つめる『聞き書き』のチカラ

～日本とインドネシアでの実践を通して～

**話し手**

島上宗子 (一般社団法人あいあいネット副代表理事、愛媛大学准教授)

澁澤寿一 (聞き書き甲子園実行委員会委員長)

**聞き手** 吉野奈保子 (NPO法人共存の森ネットワーク理事・事務局長)

16:40 ▶ 閉会の言葉



阿川佐和子 (文筆家)

1953年東京に生まれる。TBS「朝のホットライン」「情報デスク Today」「筑紫哲也 NEWS23」でリポーターやキャスターを務める。種ふみとの共著『ああ言えばこう食う』で、第15回講談社エッセイ賞、『ウメ子』坪田譲治文学賞、『婚約のあとで』で第15回島清恋愛文学賞を受賞するなど、作家として活躍している。現在はTBS「サワコの朝」、テレビ朝日「たけしのTVタックル」にレギュラー出演中。2012年に出版された『聞く力』は160万部のベストセラーとなっている。



塩野米松 (作家)

1947年秋田に生まれる。小説やエッセイ、絵本、翻訳と幅広い執筆活動を行なう傍ら、普通の人々の暮らしや職人の仕事を追って各地で聞き書きを続けている。法隆寺を再建し最後の棟梁といわれた西岡常一氏に聞き書きした『木のいのち木のこころ』の他、著書に『天から石が』『失われた手仕事の思想』『大黒柱に刻まれた家族の百年』『登頂 竹内洋岳』『もやし屋—秋田今野商店の100年』など多数。第1回聞き書き甲子園より講師を務める。



島上宗子

((一社)あいあいネット副代表理事・愛媛大学准教授)九州生まれ、大阪育ち。1994年以来、インドネシアの村落自治研究のためジャワ島、スラウェシ島に滞在し、現地の住民や実践家らとの交流を深める。2004年にコミュニティーによる自然資源管理と住民自治について調査研究・経験交流を進める日本とアジアのNGO 関係者、研究者、地域住民の集まり「いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク」を設立。2013年からは、愛媛大学にて日本とインドネシアの6大学連携のプログラムを実施中。

## 《趣旨》

「聞き書き甲子園」では、毎年100人の高校生が“森・川・海の名人”に「聞き書き」し、自然の恵みを得つつ、自然と共に暮らしてきた名人の持つ知恵や技、その生き様を記録しています。今年もまた、100人の高校生と100人の名人の出会いがありました。

そして今年、この取組みは遠くインドネシアの地でも行われ、インドネシアの高校生がインドネシアの名人に「聞き書き」をしました。

日本の高校生は、またインドネシアの高校生は名人への「聞き書き」から何を学んだのか。

そして、海を越えて行われたこの日本とインドネシアの取組みの成果から、「聞き書き」では何をすることができるのかを、このフォーラムで考えてみたいと思います。



## ◎参加申し込み方法

**参加費** 無料 **定員** 150名 ※先着順で申し込みを受け付けます。

**申込み締切** 3月25日(金) ※定員に達しない場合は、当日のご来場も可能です。

**申し込み方法** 「フォーラム申込み」と明記の上、①氏名②住所③電話④Eメール

⑤所属(高校・団体・企業名等)を明記の上、FAXもしくはEメールで下記宛にお申込みください。

お電話でもお受けいたします。

## ◎申込み・問い合わせ先

認定 NPO 法人共存の森ネットワーク

(聞き書き甲子園実行委員会事務局)

〒156-0051

東京都世田谷区宮坂 3-10-9

経堂フコク生命ビル3階

TEL: 03-6432-6580

FAX: 03-6432-6590

E-mail: mori@kyouzon.org



至本郷三丁目

**会場アクセス**

最寄駅: 東京メトロ南北線

「東大前」駅1番出口 徒歩1分

午前の部  
聞き書き甲子園  
OB・OG企画

トークセッション

座・ローカル!

藤本智士と地域の未来づくりに挑む10代が語る、  
ローカルの温もり

日本の町や村には、小さくても心惹かれる魅力がある。聞き書き甲子園の高校生は、そんな魅力と出会い、その価値を「聞き書き」で未来へと残しています。そして、残すだけでなく「アクション」を通じて、その価値を多くのひとに伝える甲子園卒業生もいます。彼女達が創ろうとする未来はどんな世界なのか。日本中で小さな魅力を「編集」して、多くのひとに温もりを届けてきた藤本さんが、その思いを引き出します。そして、若者は魅力の編集術を藤本さんにお聞きします。日本の課題と魅力の最先端・ローカルコミュニティについて、この機会に考えてみませんか。

**guest: 藤本智士** (有限会社リズ代表)

秋田県のフリーマガジン『のんびり』編集長。ジャーナリスト事務所の人気グループ嵐による『ニッポンの嵐』の編集、原稿執筆も手がける。近著に『ほんとうのニッポンに出会う旅』(リトルモア)。イラストレーターの福田利之氏との共著『Baby Book』(コクヨ S&T)がある。

## 【募金協力】株式会社ファミリーマート

【協賛・協力】 東京ガス株式会社 トヨタ自動車株式会社 富士フィルムホールディングス株式会社 アサヒビール株式会社 京王電鉄株式会社 佐川急便株式会社 株式会社ティムコ 株式会社トンボ 株式会社長塚電話工業所 B E S フォレストクラブ 株式会社ベネッセコーポレーション 株式会社マルハニチロ

一般財団法人環境文化創造研究所 公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会 公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団

【後援】 全国知事会 全国市長会 全国町村会 公益社団法人経済同友会 経団連自然保護協会

【助成】 日本財団